

ぺたん！ぺたん！元気に餅つき

12月16日(火)、河北小学校で餅つき大会が行われました。

当日は臼と杵を使い、友だちや地域の方と声を掛け合いながら元氣よく餅をつく姿が見られました。つき上がった餅は、きなこやあんこで味付けされ、みんなでおいしく味わいました。

児童は「杵が重くて餅をつくのが難しかったが、みんなで協力して食べられてうれしかった。」と感想を述べていました。

今回の体験を通して、児童たちは食の大切さや地域の支えに感謝する気持ちを学ぶ貴重な機会となりました。



9名が受賞！

人権ポスターコンテスト



函館地方方法務局主催『人権ポスターコンテスト』において、上ノ国中学校から4名、上ノ国小学校から4名、河北小学校から1名が最優秀賞などを受賞しました。このコンテストは、次代を担う小・中学生が人権尊重の理念を理解し、一人ひとりが人権について考えることで、豊かな人権感覚を身に付けることを目的として毎年実施されています。

『かみのくにトピックス』



**カミコンとサンタがやってきました！
上ノ国保育所クリスマス会**

12月24日(水)、上ノ国保育所でクリスマス会が行われました。

会場にカミコンとサンタクロースが登場すると、子どもたちは大喜び。会場は一気にクリスマスムードに包まれました。サンタから一人ひとりにプレゼントが手渡され、子どもたちは笑顔で「ありがとうございます」と感謝の言葉を伝えていました。さらに「サンタが街にやってくる」の曲に合わせ、元気いっぱいダンスを披露し、会場には手拍子と笑い声が広がりました。

一足早いクリスマスマスを満喫し、心温まる楽しいひとときとなりました。



**ふるさとを支える現場に学ぶ
地域貢献活動**



町では、町外に住む上ノ国町出身の学生が夏休みや冬休みに帰省しやすいよう、帰省にかかる費用の一部を支援しています。この取り組みは、帰省時に地域活動へ参加してもらい、町の魅力や仕事への理解を深めることで、地域貢献意識の向上や将来のUターンにつなげることを目的としています。

今回、大阪の大学に通う小林聖宣さんが(株)ワカサ商事で2日間の地域貢献活動を行いました。小林さんは「地元企業の活動に参加でき、貴重な経験になった。将来は地元で働きたい。」と話し、本事業の意義を感じる機会となりました。